

## 現状と課題

- ・ これまで、文化財については、文化財保護法に基づき保存・整備を図るとともに、インターネット上で我が国の文化遺産に関する情報を公開する「文化遺産オンライン」の運用など、各種の情報発信を行ってきたところ。
- ・ 他方、近年、文化財が地域振興、観光振興などに資するものとの認識が高まってきており、文化財の果たす役割の拡大が求められている。  
しかしながら、観光資源としての国内外への発信が必ずしも十分ではなく、我が国の文化財の魅力を分かりやすく伝えることが出来ていない。



## 今後の方向性(案)

- 我が国の「たから」である文化財について、その特性や保存に配慮しつつ、その魅力をより一層引き出すような形で、対外的に発信していくことが必要。
- とりわけ、海外への情報発信に関しては、文化財保護法上の類型にとらわれず、統一的なコンセプトで発信していく方策の検討が必要ではないか。

# 関連の閣議決定等

## 「クールジャパン推進のためのアクションプラン」(平成25年5月28日クールジャパン推進会議)(抄)

「ストーリー」

- ⑬ 国宝、重要文化財の呼称も含めた検討のほか、世界文化遺産を目指すものについて「日本遺産(仮称)」として位置づけるなど、文化財の保存・整備や活用・発信、伝統芸能・工芸を含む文化芸術の創造・発信を通じて、インバウンドを推進するためのストーリーが各地域において作られ、文化芸術創造都市機能の強化等につながるような措置を講じる。(文部科学省)

## 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」(平成25年6月11日観光立国推進閣僚会議)(抄)

1. 日本ブランドの作り上げと発信

(2)クールジャパンと一体となった日本ブランドの発信

- ・国宝、重要文化財の呼称も含めた検討のほか、世界文化遺産を目指すものについて「日本遺産(仮称)」として位置づけるなど、地域の文化財等の保存・整備を図るとともに、観光資源として積極的に国内外へ発信するなど、活用を図る。

## 「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)(抄)

二. 戦略市場創造プラン

テーマ4: 世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現

②観光資源等のポテンシャルを活かし、世界の多くの人々を地域に呼び込む社会

I) 社会像と現状の問題点

…現状では、日本の魅力の発信が不十分なこと等により、豊かな文化遺産・自然環境を始めとした観光資源のポテンシャルを活かしきれない。

II) 解決の方向性と戦略分野(市場・産業)及び重要施策

こうした現状を打開すべく、コンテンツ、伝統文化や地域文化等の文化芸術、ヒト等を通じたトータルな日本ブランドを確立し、世界各地へと幅広く浸透させ、日本ブームを創出し、「日本」へと数多くの外国人を惹きつけ、引き寄せる。

○訪日プロモーションに関する省庁・関係機関の横断的計画策定と実行

- ・国宝、重要文化財などの地域の文化財について、保存・整備を図るとともに、情報発信・活用方法の検討を今年度内に実施し、観光資源として積極的に国内外へ発信し、活用する。

# 文化財の活用に関する取組について

## 展示・公開環境の整備

- 有形の文化財に係る展示設備・解説用設備の設置等について支援。
- 城跡等の復元について支援。



案内板の設置



公開設備の整備



橋梁の公開用  
ライトアップ設備の整備



遊歩道の整備

## インターネット上での発信

- 文化遺産オンラインによりインターネット上で我が国の文化遺産に関する情報を公開。
- 地域の文化遺産を活用した対外発信（ホームページ作成等）について支援。



文化遺産オンライン  
文化遺産オンライントップページ  
(<http://bunka.nii.ac.jp/Index.do>)

## 伝統行事・伝統芸能の公開、展覧会等の開催

- 国宝・重要文化財等の文化財を諸外国に紹介するための海外展を開催。  
平成24年度は、イタリア・フィレンツェのピッティ宮殿において「日本近現代工芸の精華」展を開催。
- 美術工芸品や伝統芸能等の公開、シンポジウムの開催等に対して支援。
- 地域における伝統行事等への支援。
- 文化芸術団体による海外公演に対して支援。



京都祇園祭



鶴住居虎舞(釜石市)

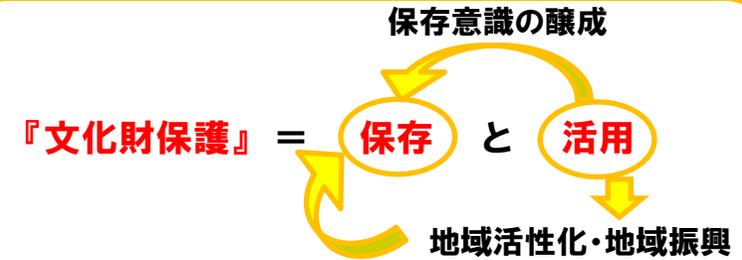


組踊の特別鑑賞会

## 平成25年度新規施策

さらに、平成25年度予算においては、文化財を活かした地域活性化・地域振興をより一層推進するため、以下の新規事業を計上。

- **文化財建造物等を活用した地域活性化事業(17億円)**  
(文化財建造物等の公開活用を促進するためガイダンス施設や案内版等の設置、環境整備等を支援。)
- **地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業(32億円)**  
(公開活用のための史跡等の復元整備、安心・安全のための石垣の崩落防止措置などの防災対策等を支援。)
- **地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業(10億円)**  
(海外の博物館等との交流、外国人利用のための環境整備等の取組を支援。)
- **文化遺産を活かした地域活性化事業(34億円)**  
(地域の文化遺産を活用した伝統行事・伝統芸能の公開、後継者養成、子どもたちが地域の伝統文化に触れる体験事業等を支援。)



# 「日本の至宝」発信戦略 ～クールジャパンの実現に向けて～

## 戦略①

### 「日本の至宝(“Treasure of Japan”)」の統一コンセプトの下に発信

- 英語名称「国宝(“National Treasure”)」重要文化財(“Cultural Treasure”)」・・・どちらも宝  
※「重要文化財」の英語名称を「“Important Cultural Property”」から「“Cultural Treasure”」へ

## 戦略②

### 日本全国に散らばる「日本の至宝」を巡る旅行プログラムの提案

- 外国人向けに日本各地の宝に触れる機会を増大→日本の文化の多様性の再発見

## 戦略③

### 「日本遺産(“Japan Heritage”)」認知度UPキャンペーン

- 世界遺産暫定リストに記載された文化遺産等を「日本遺産(“Japan Heritage”)」という呼称で発信  
→ 知名度UP

## 戦略④

### 文化財の海外発信のための専用サイトの開設

- 戦略①～③までの日本の取組をWEBを通じて世界中に発信  
GISを活用したスマートフォン用アプリの開発など個人が活用できるツールについても検討

## 戦略⑤

### 日本の伝統を紹介するコンテンツを作成しオールジャパンで発信

- 外務省(→在外公館を通じた現地での情報発信、展覧会の実施)や観光庁(→国内外の観光関係の会議などでの情報発信)との連携など関係機関の協力を得て効果的に発信

## 戦略⑥

### 外国人観光客のための展示・公開環境の整備

- 誰もが快適に文化芸術に親しめる環境づくりを行いインバウンドの増加を促進

## 戦略⑦

### 中高生等による地域の至宝についての英語でのボランティアガイドの実施

- 地元の伝統文化に対する理解を深め、グローバル人材を育成